

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・販売促進策の強化があり、来客数増が見込める。
		通信会社（店長）	・現在値引き中心の施策が好調のため、年末までこの施策を継続すれば、新商品発売の時期と重なり販売数のアップが期待できる。
		観光名所（職員）	・修学旅行先の韓国、中国からの振替で、客が増える可能性がある。問い合わせも多くなってきているが、航空座席・ホテル・バスのやり繰り次第での決定になるとみている。
	変わらない	ゴルフ場（経営者）	・客単価は上がっているが、それに対する予約が順調に推移しているため、2、3か月後の売上は、まあまあ良くなっていると判断できる。
		百貨店（営業企画）	・天候の影響を除くと、変わらず身の回りの景気は良い方向にあるとみられる。来月は一部のフロアで改装オープンも控え、集客できるとみている。
		スーパー（販売企画担当）	・競合店の新規出店が予定されており、競争はますます激化する。また、最近毎日のように報道されている中国問題について、商品仕入れにも影響が出てきているようである。
		コンビニ（経営者）	・来客数は増えているが、客単価が伸び悩んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	・天候のせいもあるが、この数か月は来客数減少が続いており、売上と利益が悪化している。これから売上の下がる時期でもあり、経営回復への懸念がある。また特売等を行っても、継続した売上にはつながらず、客の購買意欲はシビアなままである。前年並みに戻る要因が見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・東南アジアからの観光客は減少すると予測するが、その分、首都圏を中心とした都市部からの観光客は、行き先を台湾、韓国等から沖縄へ変更するなど、逆に増加すると予測する。そのため県内景気が落ち込んでいくとは考えにくい。
		衣料品専門店（経営者）	・定価品に対する購買意欲があまり感じられないが、セール品もそれほど動いている状況ではない。次のシーズンの商品が入ってきているので、それに期待する。
		衣料品専門店（経営者）	・良くなる理由も悪くなる理由も見当たらない。ただ前年に比べ、全体的には良くなっている状況が、来年まで継続するとみられる。短期的な予想は難しい。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現在の予約状況から予測できる推移としては、あまり現状と変わらない見込みである。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・2、3か月先は、年末年始に入り、住宅購入の検討に入る方が増える見込みがある。しかし、住宅建築等は慎重な検討が必要なため、受注には時間がかかる。客の商談進ちょくは、最近の状況と同程度と予想するので、2、3か月先も、当月とあまり変わらないとみられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	・特段、景気が良くなる材料が見当たらない。
やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・業種は違うが、大型ディスカウントストアの出店の予定があり、近隣の店舗への影響が懸念される。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	・今年に入り前年実績を上回ったことはなく、今月も下回っている。これから先も良くなる兆しはみえてこない。	
	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・台風17号の影響で、かなりの車両でガラスが割れたり、ボンデーに傷が付いたため修理しており、貸出不能となっているので今後売上に影響してくる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・観光客の入域は多少回復しているようだが、一般的な商品の販売単価が落ちており、商店街としては何十年ぶりくらいの大変な不況になっているという話もある。これが底であれば良いが、まだ客の財布のひもは固いようで、小売店は四苦八苦しているのが現状である。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・領土問題やオスプレイ問題で外国人観光客の予約が激減し、自衛隊関連の予約キャンセルが相次いでいる。また来月後半からの最低賃金の引き上げで、時給、給与が見直され、人件費が上がるので対応に追われている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（本社事業本部）	・新規出店及び新規業務の受託により売上拡大が見込める。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事は横ばいで、民間工事はやや減少の見込みである。全体では横ばいの見通しである。
輸送業（代表者）		・伊良部架橋、新石垣空港等の大型物件は終わりを迎えるが、農水関連や周辺工事があり、今年度までは大きな変化は無い。	

	通信業（営業担当）	・ 2～3か月では景気は変わらないとみる。しかしながら、IT関連の入居施設の建設が進んでおり、入居企業等も確保できているようなので、将来的には景気は良い方向に向かうと見込む。
	広告代理店（営業担当）	・ 一括交付金による県外、海外市場を開拓する大規模な事業が五月雨式に公募されていることが大きく影響しており、もうしばらくは続くのではと想定している。
	会計事務所（所長）	当社は輸入時の為替リスクに対処する為に為替予約を行っていたが、当初の予定以上に円高が進み、結果的に輸入コスト増につながっている。その分を国内での販売価格へ転嫁するのが難しい状況である。
やや悪くなる	食料品製造業（管理部門）	・ 中元ギフト及びパーペーキュー等の季節需要が終了し、売上が減少する。
	建設業（経営者）	・ 引き合い件数が、減少傾向にある。また、モデルハウスへの来場組数も減少している。
悪くなる	-	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者） ・ 中国からの観光客の落ち込みがあり、その影響が懸念されるが、現在そのまま派遣依頼が続くと、確実に売上、利益は伸びるものとみられる。 人材派遣会社（総務担当） ・ 本土系IT関連企業の県内への拠点移動により、及び地元発のIT関連企業を中心に求人意欲は、引き続き根強い。労働者派遣法改正法の影響の懸念もあるが、サービス業の求人も堅調であり、景気への期待が持てる。 求人情報誌製作会社（営業担当） ・ 年末に向けて飲食店の求人等が増える。
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当） ・ 引き続き求人件数を維持し、しばらく景気は「良い」で推移するとみられる。
	やや悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当） ・ 領土問題や基地問題等、政治不安が続いている。最近の傾向として、その影響が就職活動にも敏感に反映されている。
	悪くなる	-